



長尾和宏 (ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

「おっかあ、雪が降って来たぞ!」。しかし母は動こうとはしない。「早く帰れ!」と手で合図をするだけだった。70歳の母親役を演じたのは、当時40代だった歌手で女優の坂本スミ子さん。雪が降ってきた。辰平は辛抱堪らず母の元へと走る。

「おっかあ、雪が降って来たぞ!」。しかし母は動こうとはしない。「早く帰れ!」と手で合図をするだけだった。70歳の母親役を演じたのは、当時40代だった歌手で女優の坂本スミ子さん。雪が降ってきた。辰平は辛抱堪らず母の元へと走る。

脳梗塞は、脳の中を走る血管が詰まることで発症します。脳血管疾患で亡くなる人は年間10万人以上。このうち脳梗塞での死亡者は6万人以上います。高血圧や糖尿病など動脈硬化のある人は要注意です。特に寒い季節は、脳梗塞や心筋梗塞になる人が増えます。高齢者は、入浴中や入浴直後の急な室内気温の変化に十分注意してください。冬場の長風呂、熱い湯は厳禁です。また、入浴後は十分に水分を摂りましょう。(お酒はダメですよ。)

それに加え、コロナ禍のステイ・ホームによって、国民の運動量が大幅に減っていることも大変気になります。たとえ10分でもいいのです。暖かい日中に屋外で背筋を伸ばして深呼吸をしながら歩いてください。起床時や日中に手や足が動かない、ろれつが回らない、言葉が出てこなければ脳梗塞のサインかも。迷わず救急車を呼びましょう。「コロナで大変な時に救急車を呼ぶのは申し訳ない」とためらってはいけません。脳梗塞の治療は、時間との闘いです。

山間にあるその貧しい寒村には、3つの掟がありました。「結婚して子孫を残せるのは長男だけ」「食料を盗む者は重罪に処する」「70歳を迎えた老人は檀山参りに出なければならぬ」

日本各地に残る姥捨山伝説を描いた深沢七郎の傑作小説『檀山節考』は、木下恵介監督と今村昌平監督により2度も映画化。カンヌ映画祭でパルムドールを受賞した今村作品(1983年)を

僕が観たのは遠い昔ですが、劇場を出た後に急に母親が恋しくなったのを覚えています。

190 女優 坂本スミ子



70歳を迎えた母親を背負い、黙々と山道を歩く息子の辰平(緒形拳)。奥に進むと、そこかしこに頭蓋骨が転がっている。そして終着地。母を背から下ろすもの、そ

「おっかあ、雪が降って来たぞ!」。しかし母は動こうとはしない。「早く帰れ!」と手で合図をするだけだった。70歳の母親役を演じたのは、当時40代だった歌手で女優の坂本スミ子さん。雪が降ってきた。辰平は辛抱堪らず母の元へと走る。

脳梗塞は、脳の中を走る血管が詰まることで発症します。脳血管疾患で亡くなる人は年間10万人以上。このうち脳梗塞での死亡者は6万人以上います。高血圧や糖尿病など動脈硬化のある人は要注意です。特に寒い季節は、脳梗塞や心筋梗塞になる人が増えます。高齢者は、入浴中や入浴直後の急な室内気温の変化に十分注意してください。冬場の長風呂、熱い湯は厳禁です。また、入浴後は十分に水分を摂りましょう。(お酒はダメですよ。)

それに加え、コロナ禍のステイ・ホームによって、国民の運動量が大幅に減っていることも大変気になります。たとえ10分でもいいのです。暖かい日中に屋外で背筋を伸ばして深呼吸をしながら歩いてください。起床時や日中に手や足が動かない、ろれつが回らない、言葉が出てこなければ脳梗塞のサインかも。迷わず救急車を呼びましょう。「コロナで大変な時に救急車を呼ぶのは申し訳ない」とためらってはいけません。脳梗塞の治療は、時間との闘いです。

『檀山節考』は永遠に日本人が観るべき作品だと思います。親をこれから介護施設に入れようと考えている人は、特に

『檀山節考』に母を想う

『檀山節考』は永遠に日本人が観るべき作品だと思います。親をこれから介護施設に入れようと考えている人は、特に